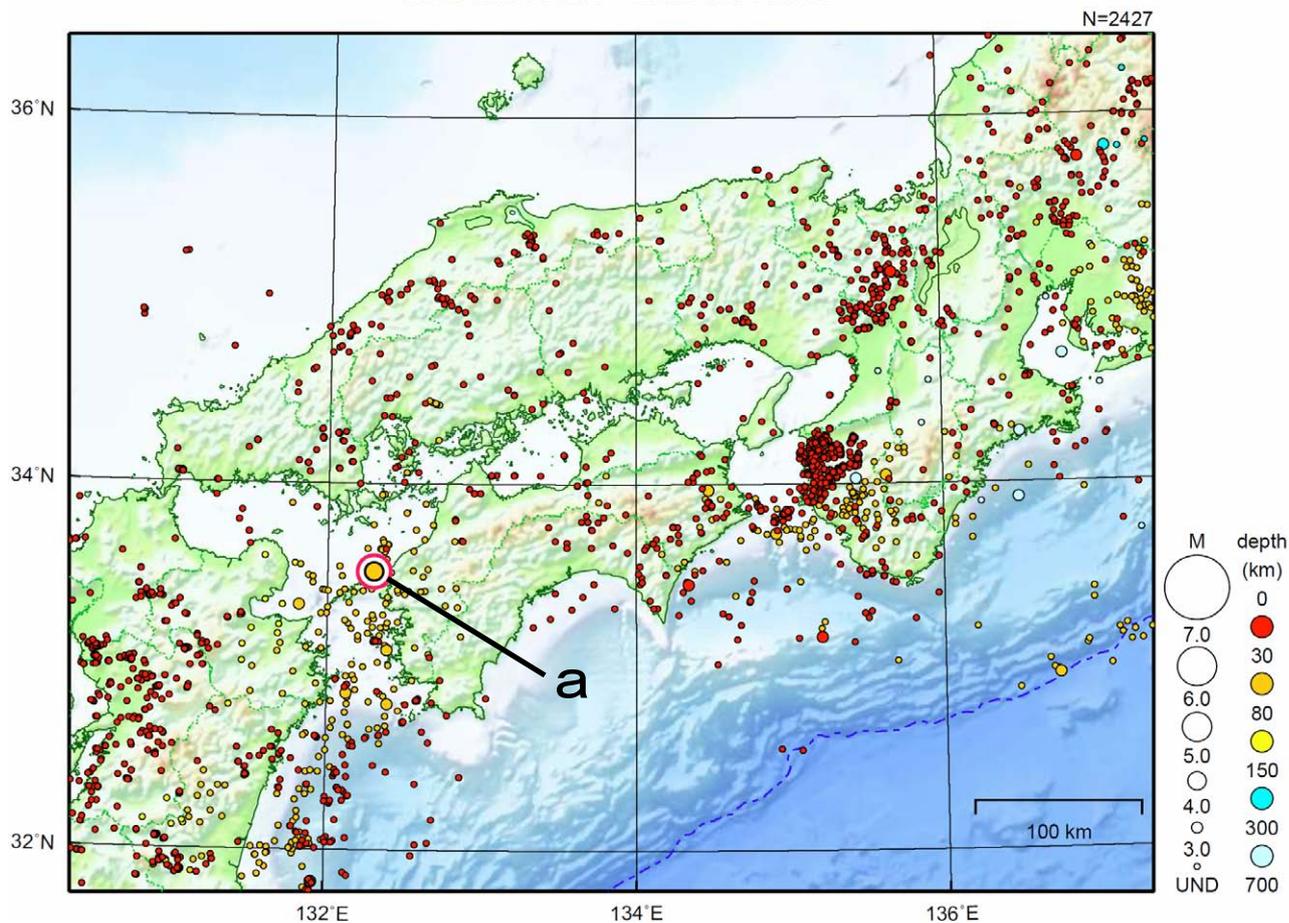


# 近畿・中国・四国地方

2012/12/01 00:00 ~ 2012/12/31 24:00



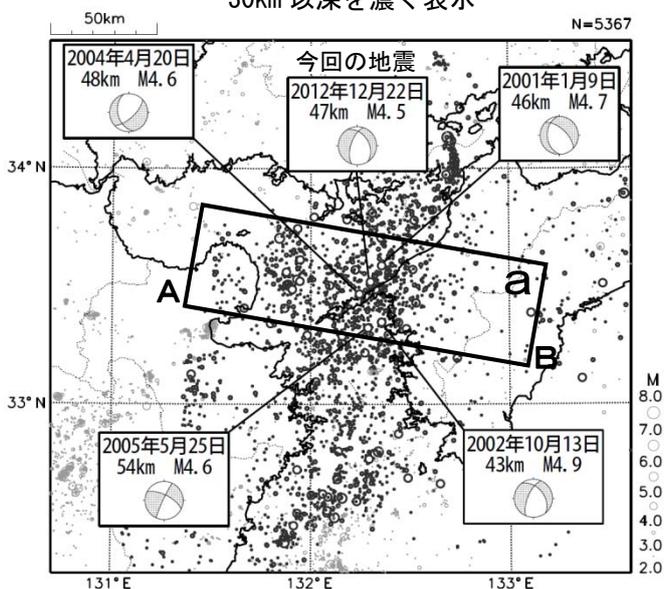
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 12月22日に伊予灘でM4.5の地震(最大震度3)が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 12月22日 伊予灘の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2012年12月31日、  
深さ0～140km、 $M \geq 2.0$ )  
30km以深を濃く表示

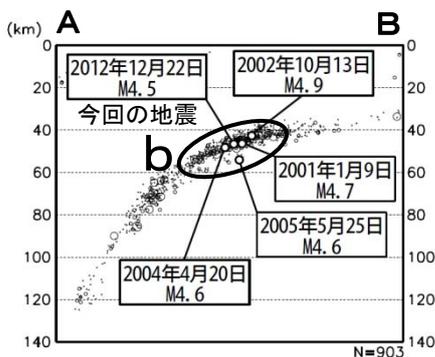


2012年12月22日15時15分に伊予灘の深さ47kmでM4.5の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレートの内部で発生した地震である。この地震の2分後の22日15時17分に、ほぼ同じ場所でM3.4の地震 (最大震度1) が発生した。

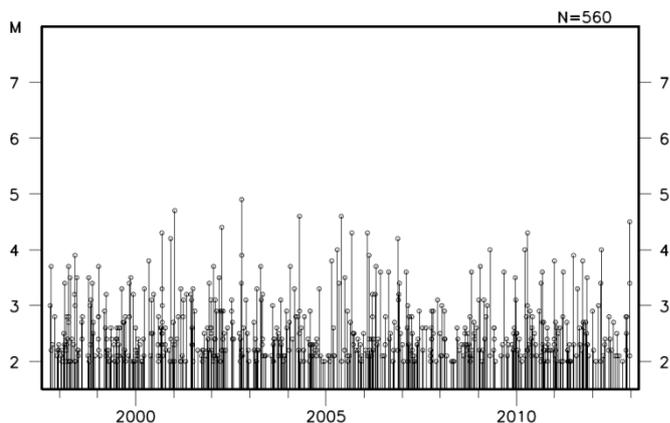
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM4.0を超える地震が時々発生している。

1923年1月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1968年8月6日にM6.6の地震が発生し、負傷者22人、家屋の全焼1棟・一部破損7棟等の被害が生じた (『最新版 日本被害地震総覧』による)。また、今回の震源から北東に約80km離れた場所では、2001年3月24日に「平成13年 (2001年) 芸予地震」が発生している。

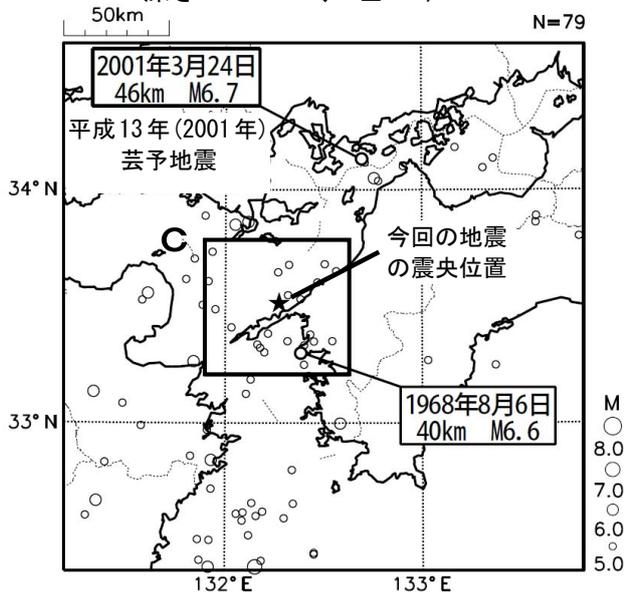
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



震央分布図  
(1923年1月1日～2012年12月31日、  
深さ0～140km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図

